

第10回日本微生物学連盟フォーラム

# 微生物は 地球の救世主に なれるか？

司会 岡部 聡 (北海道大学大学院工学研究院環境工学部門 教授)

2023年、世界の人口は80億人を突破しました。今日われわれは、地球温暖化に伴う気候変動や人口増加に伴うエネルギー危機、食料問題など、地球の存続を脅かす喫緊の課題に直面しています。本フォーラムでは、小さな目に見えない微生物の力を借りて、これら地球環境問題の解決に向けて挑戦しているユニークな研究を紹介します。また講演会と並行して、(微)生物の観察展示イベントも行います。“微生物は地球の救世主となれるか？”皆様と一緒に考えたいと思います。

日時：2024年2月10日(土)  
13:00~16:00

会場：東京大学山上会館(要申込、お申込み先着100名)  
および Zoomウェビナー配信

主催：日本微生物学連盟

後援：日本微生物生態学会、日本生物工学会、日本農芸化学会、  
東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構

## 開会挨拶

大西 康夫(東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構長)

## 「サステナブルバイオテクノロジー」

渡邊 一哉(東京薬科大学生命科学部 応用生命科学科生命エネルギー工学研究室 教授)

## 「ビーチロックに学ぶ微生物を用いた海岸保全技術」

川崎 了(北海道大学大学院工学研究院環境循環システム部門 教授)

## 「土と微生物で生態系を再構築する」

藤井 一至(森林研究・整備機構森林総合研究所 主任研究員)

## 「微生物による温室効果ガスの削減と市民科学」

南澤 究(東北大学大学院生命科学研究科 特任教授)

## 「何でも質問コーナー」

## 閉会挨拶

長田 裕之(日本微生物学連盟理事長、静岡県立大学薬学部薬学科(生薬学分野) 特任教授)

お問合せ先

日本微生物学連盟事務局  
fmsj-office@umin.ac.jp

参加申込および詳細は以下のURLをご参照下さい(参加費無料)  
<http://fmsj.umin.jp/news2312.html>

